

平成25年度 所信表明

第164回浦添市議会定例会が2月26日から3月26日まで開催され、松本哲治市長は、市政運営について「福祉や医療、教育、スポーツ、国際化、経済などの向上に向けた様々な施策を展開するにあたり、市民の皆さまと一緒にあって共に意見を交わし協力しながら『わくわくするような浦添づくり』に全力で取り組む」、「各種施策に取り組む上での使命として考えている『市民の夢や活動を応援し、市民と共に行う街づくり』『無駄を省き、効率性を高めた経営感覚を持った街づくり』『喜びと感謝と愛に満ちた、市民一人一人が輝く街づくり』の実現に向けて、信念と情熱の全てを捧げる」と所信表明を行いました。

平成25年度の主な施策を抜粋して掲載します。



希望と活力にあふれた生活創造都市

商工業の活性化を図るために策定いたしました「商業振興ビジョン」を基礎として、個性と魅力にあふれた商業地域づくりを目指してまいります。通り会等の活性化については「組踊」などの伝統芸能関連を観光産業として活用すると共に、地域の特色をいかしたイベントなどを後援し、誘客が図れるよう取り組んでまいります。

市産品の販路拡大については、浦添の物産と観光展を県内および県外で開催すると共に、県外販路拡大事業および市特産品等出展助成を実施し、より多くの市産品のアピールに努めてまいります。

浦添市産業振興センター・結の街を拠点にインキュベーションマネージャー制度の強化により、起業家を強固に育成すると共に、期間満了等に伴う退去企業に対しましては、市内定住を促進する制度を実施してまいります。

併せて、新しく入居しました浦添市観光協会、指定管理者である浦添商工会議所、浦添市の三者が連携を密に行い、浦添市の観光商品の開発や産業の情報発信を強化し、観光産業など、多くの産業振興を図ってまいります。



東京ヤクルトスワローズin 浦添 歓迎式

東京ヤクルトスワローズ関連については夏の神宮球場ホームゲームを「浦添デー」と銘打って開催することで、「浦添市」を全国にアピールすると共に、連携して「物産と観光展」を実施し、市産品等の普及に努めてまいります。

春季浦添キャンプにおいては、全国各地から訪れるプロ野球ファンを球場周辺だけに止めることなく、市内各エリアに誘導する施策を実施してまいります。

青年就農給付金該当者に対し補助を行うことにより、就農後の技術の習得・生産安定までの期間を支援し担い手の育成・確保を促進します。

水産業は、燃料の高騰や魚価の低迷により、依然として厳しい経営状況が続いていることから、浦添亘野湾漁業協同組合へ引き続き水産業振興対策補助金の交付をし、燃料費補填事業や保

冷用コンテナ購入事業を支援してまいります。
養蚕絹織物事業については、養蚕と絹織物を集約した施設「サン・シルク」を活用し、養蚕事業では、島桑による観光・産業振興事業を推進し、桑や蚕等を活用した地域特産品づくりに努めてまいります。



浦添市の特産品 島桑を使用した「てだ桑茶」

絹織物事業では、古くから伝わる沖縄の伝統工芸をいかした物づくり、人づくりの風土を育み、うらそえ織結の会を組織面および販売面から支援し、特に、浦添産の生糸をいかした織物の商品開発、養蚕業および流通業との連携を行い、県内外への織物の流通促進に努めてまいります。

併せて養蚕・絹織物事業とも、マーケティングを進め、経営の自立化に向けた振興を図ってまいります。

雇用創出については、国の緊急雇用創出事業を活用して、介護施設等雇用

促進支援事業他5事業を実施してまいります。

また、就職を希望する市民に対しては、ICT関連資格取得などを支援するICT人材育成事業および、市内企業の従業員等に対してはスキルアップ研修などの経済人材育成事業を実施してまいります。

国際化が進む現代社会に対応するため、語学力を中心とする国際的なコミュニケーション能力を有する人材育成を行う教育機関「浦添市スーパー・コミュニケーションスクール」を開校し、国内外観光客の受入などを視野に入れた「雇用につながる人材育成」に取り組んでまいります。

浦添心頭地区については、第一ステップ事業の基盤整備を関係機関と連携し進めてまいります。併せて都市機能用地への大型商業施設の企業誘致を促進し、新たな観光拠点の形成を目指してまいります。

牧港補給地区の跡地利用事業については、返還後の早期整備を見据え「沖縄県における駐留軍用地跡地の有効かつ適正な利用の推進に関する特別措置法」の活用を検討すると共に、昨年度に策定した基本計画を踏まえ地権者、市民との合意形成に努めてまいります。



沖縄都市モノレール 浦西駅(仮称)のイメージ

沖縄都市モノレールの浦添ルート延長整備については、広域公共交通基幹軸の構築と、利便性が高く環境に優しいまちづくりの形成を図るため、関係機関と連携して推進してまいります。

未買収道路の用地を取得するため、沖縄振興特別推進交付金未買収道路用地取得基金を活用し、測量委託、不動産鑑定等を行いながら順次土地の買収に着手してまいります。

水道事業については、災害に強い施設の実現のため、水道施設の耐震化にかかる整備を行うと共に、安定した貯水量を確保するために前田配水池建設を推進してまいります。

学校教育については、幼児・児童・生徒の学習意欲を喚起し、自ら課題を見つけて学び、主体的に判断し、よりよく課題を解決する力や、豊かな心と

世界に翼を広げる 交流文化都市

「てだこ市民大学」では、3期生を輩出するところであり、卒業生が学んだ成果を地域社会や学校教育等にいかすため、その活動支援体制の整備に努めてまいります。

健やかな体などの「生きる力」を育むと共に、子ども一人一人の個性をいかす教育を推進してまいります。
学力向上の施策として、英語検定試験および漢字検定試験への補助を実施し、学習意識の向上と学力向上に努めてまいります。

「浦添市教育情報化推進計画」では、電子黒板や大型地デジテレビと併せ、「電子教科書」の活用促進および、その他ICT機器の有効活用を通して、これまで以上に「わかる授業」「参加する授業」を展開し、児童生徒のさらなる学力向上を図ってまいります。また、情報化社会に向けて、ICTを活用した情報モラル教育の充実に取り組んでまいります。

学校施設の整備については、浦添小学校校舎およびプール改築事業の工事に着手してまいります。

誇りと愛着の持てる市民文化の創造として、浦添市文化芸術振興事業長期計画に基づき、市民の音楽活動事業、舞台芸術の発表事業、伝統文化の継承・

「史跡浦添城跡保存整備事業」では、浦添のシンボリック的存在のワカリジーを後世に残し伝えるための岩盤補強対策工事の実施と、浦添グスクの復元整備に向けた城壁等遺構確認のための発掘調査を引き続き実施してまいります。

「地域資源復元推進事業」では、市指定史跡・安波茶樋川およびクバサー又御嶽の整備実施設計を行います。また、国指定史跡となった中頭方西海道のルートを示す石畳敷設工事を実施してまいります。

また、浦添城跡をはじめとした市内の遺跡発掘調査で得られた遺物等を展示し、本市の歴史と文化の発信拠点の一つとして「歴史にふれる館」を整備してまいります。